

ダニエル・カールの

消防団 たずねあるき

第8回 岐阜県土岐市

はじめに

今回の「消防団たずねあるき」は、岐阜県の土岐市にうかがいました。

土岐市といえば「美濃焼」の産地で陶磁器生産日本一のまちとして知られています。また、近年は名古屋市への通勤圏であることからベッドタウンとしても発展してきたそうです。

東京からの新幹線を名古屋で乗り換えて中央線に乗り込みます。快速電車に乗って45分で着きました。なるほど、ベッドタウンにはちょうど良い距離ですね。土岐市の周辺には何度か来たことがあるのですが、土岐市にお邪魔するのは初めてです。

駅を出ると、さっそく焼物のお出迎えです。たらいほどもある大きな抹茶茶碗が飾ってあります。

お出迎えをしていただき、消防本部へと向かいます。さてさて、今日は、どんなお話がうかがえるのでしょうか。

ダニエル はじめまして、よろしくお願います。

白石団長 こちらこそ。ようこそおいでく

ださいました。

ダニエル 実は、今日は岐阜ということ、とてもくやしい気持ちでやって来ました。

白石団長 なぜですか。

ダニエル 日本の最高気温のことです。それまで山形が日本一だったのに岐阜に抜かれて…

白石団長 おとなりの多治見市ですね。

ダニエル わずか0.1℃なのに…

白石団長 (笑) そのうち、また、山形で記録が出るかもしれませんよ。

ダニエル そうですかね…、でもあんまり暑くても困ってしまいますしね。

白石団長 そうですよ。ところで、土岐市の第一印象はいかがですか。

ダニエル やはり「焼物のまち」という感じですね。あちらこちらに焼物が飾ってありますね。他にどんなものが名物ですか。

白石団長 焼物、つまり器がある所ですから、その中身である料理もなかなかですよ。

ダニエル どんな料理がありますか。

白石団長 いろいろありますが、ウナギですかね。この辺りの川で捕れる天然ウナギは、川の強い流れで身が締まっっていて、かつ、脂が乗っっていてとてもおいしいです。

消防団たずねあるき



前列左から各務分団長、ダニエル、白石団長、館林副団長、水野副分団長、
後列左から稲垣部長、西尾副分団長、林本部長、太田本部長、清水分団長、若尾消防長

ダニエル そうだったんですか。さっき駅前
前で昼食を済ませてしまいました。

白石団長 今度いらっしゃるときには、ぜひ、
召し上がってください。

ダニエル そうします。

では、そろそろ本題に入って消防団のお話を
うかがいます。

白石団長 そうですね。でも、その前に場所
を移しましょう。

土岐市には「消防団中核拠点施設」というもの
があります。これは、消防団の活動施設の整備を
図ることはもちろん、消防団と自主防災組織の
連携や地域の防災意識の啓発を図るために
建てられた施設です。せっかく消防団の話をする
のですから、そちらでお話ししましょう。

ダニエル わかりました。

土岐市消防団

土岐市には「消防団中核拠点施設」が6カ所
あるそうです。その中で、今回オラがおじゃま
したのは「下石（おろし）分団中核拠点施設」
というところです。

その建物を見て「どっかで見たような…」と
思いました。そしてすぐにわかりました。そう



下石（おろし）分団中核拠点施設

消防団たずねあるき



対談風景

です。消防団のハッピーを意識したデザインになっているのです。なかなか凝ってますね。

ダニエル 土岐市消防団について教えてください。

白石団長 1団、2方面隊の7分団と、音楽隊、機能別分団で団員数は499名です。

土岐市はもともと8町村が合併してできた市です。

ダニエル それは、最近のことではないですよ。

白石団長 昭和30年頃の事ですからもう50年以上前のことになります。

合併前のそれぞれの町村に消防団があったから、当初は連合消防団のような形でした。近年までそのような意識があり、地域ごとに防災に対する意識に差がありましたが、現在は、土岐市消防団全体の平準化を図り、本当の意味で土岐市消防団となっています。

ダニエル 平均年齢はどれくらいですか。

白石団長 33歳です。

ダニエル 若い消防団ですね。若い人が多いというのは頼もしいですね。

白石団長 はい。それと当市の消防団の特徴として、在職年数が比較的短いということがあります。

ダニエル 循環がいいということですね。つまり次から次へと消防団員になる人がいるというわけですね。

白石団長 そうですね。ただ、人口が増えてはいないので、なかなか団員数が増えるところまでは行きません。また、財政的な事情から活動費が十分とは言えない状況があります。

そういった事を含めて、消防団の改革が必要だと考え、平成19年に「消防団改革委員会」を設置して「消防団とは何をする組織なのか」という原点に立ち返って、再度、いろいろと勉強を始めました。その結果をベースにして平成21年度にできたのが、先ほどお渡しした「消防団活動マニュアル」です。

ダニエル まだ、細かく読んではいません

消防団たずねあるき



消防団活動マニュアル



消防団活動マニュアルを読むダニエル

が、このマニュアルはよくまとまっていますね。組織的な事もよく説明されているし、活動についても写真やイラストなどがあってわかりやすいと思います。

白石団長 消防団は単なる「火消し」にとどまらず、地域防災の中核となる存在です。現在では、地域に活動の輪を広げ、各自治会とも密接な関係を持ち、市内の各地域で多くの住民が参加する防災訓練が毎年行われています。

ダニエル それも「消防団改革委員会」で皆さんがいろいろと勉強した成果ですね。

白石団長 そうですね。また、消防団員が増えていないのにその活動範囲は広がっています。各種災害への対応が求められる中で、災害弱者に対する配慮などもしていかなければなりません。そして、そこには女性も参加すべきですし、女性が担当した方がスムーズに行く業務もあると思います。当市では10年ほど前から女性消防団員を採用していましたが、消防団本部付きという形でした。今年度からは、より地域

に密着した活動をしてもらうために各分団に配置しました。女性消防団員は全員が応急手当普及員の資格を持っており、はっきりとした役割を持って分団が管轄する地域の中で活動しています。

ダニエル 具体的な役割を持って活動する方が、皆さんもやりがいを持てますよね。

消防団員の職種としては、やはりサラリーマンが多いですか。

白石団長 そうですね。

ダニエル 焼物のまちですから、地元でそういう仕事に係わっていらっしゃる方も多いのではないですか。

白石団長 地元の事業所は、ここ10年くらいでずいぶん減りました。地元の産業の衰退も団員確保を難しくしている原因の一つです。

ダニエル そんな中で、女性消防団員の存在は頼もしいですね。

白石団長 はい。防火週間などに併せて、災害弱者である高齢者宅を防火訪問してもらっ

消防団たずねあるき

ています。訪問を受ける高齢者の方も、いかつい男性よりは、ソフトな女性の方が受け入れやすいと思います。

ダニエル 女性消防団員ならではの地域に密着したきめ細かな活動ですね。具体的にどんなお話をするのでですか。

清水分団長 「火の元に気をつけてください」とか「もし火事になったら119番通報して話ができますか」といった事をおたずねして、世間話も含めていろいろな話をします。

ダニエル 高齢者の方ですから、ときどき様子を見に行く事が安全につながりますよね。

清水分団長 そうですね。私たち女性消防団員の顔を覚えていただいています、今では、気軽に玄関を開けていただけます。

ダニエル 親近感があるのでしょうか。

これは他の消防団でうかがった話なのですが、地域の各家庭の事情を消防団が把握して、何か起こった時に備えるという活動をしてらっしゃるということでした。そういう活動は、男性でもできないことはないでしょうが、訪ねて来られる立場だったらオラも女性の方がいいなあ。(笑)

訪問することで、消防団のPRにもなりますよね。

白石団長 イメージアップにもつながると思います。

ダニエル 小さいお子さんに防災の事を教えるにしても、女性の方が上手だということも聞きます。そういったことも消防団の改革の中のひとつですね。

白石団長 そういことです。

ダニエル 社会が変わっているのだから、その流れに合わせて消防団も変わっていく、進

化していくということを積極的に考えて消防団を改革されたということですね。

白石団長 この「消防団中核拠点施設」も消防団改革のための役割を果たしています。

かつてこの地域には5つの詰所があったのですが、中には、消防車両が出入りするには、あまりにも狭い場所に建てられたものもありました。この施設ができたおかげで、消防車両の台数自体は減りましたが、同時にメンテナンスのコストが抑えられました。現在は高性能の車両3台を配備し、地域の消防防災がしっかりと機能するようになりました。

ダニエル 地域の住民にとっては心強いことですね。

白石団長 それに加えて、小型動力ポンプやいろいろな救助資器材を搭載した車両を総務省消防庁から無償貸与していただきました。

ダニエル 良かったですね。消防車は高いですからね。オラも消防士だった父親に聞いてそれは知っています。

こちらの地域で、一番心配な災害は何ですか。

白石団長 東海地震ですね。それがどの程度の規模で来るのか、それが一番心配です。

ダニエル そうですか。岐阜県というとあまり地震はないというイメージですが…

白石団長 確かにあまり地震の多いところではありませんし、土岐市は比較的地盤が良いところですが、ただ、市の中心を土岐川が流れていて、低い土地に住宅がかなりありますので、どうしても心配になります。

ダニエル 台風やゲリラ豪雨などはどうですか。

若尾消防長 最近、大きな台風は来ていませんが、ゲリラ豪雨などはいつ起きても不思議は

消防団たずねあるき

ない状況です。台風であれば、天気予報である程度進路の予想もできますが、ゲリラ豪雨は突然起こるので心配の種です。

ダニエル そうですか、地震もゲリラ豪雨も予想ができないところが怖いですね。

オラも初めて日本に来た時「地震の多い国」だというイメージを持っていました。でも、関西に住んだので周りの人達も「関西には地震はない」と言っておられました。でも、あの阪神淡路大震災が起きましたからね。

白石団長 土岐市は焼物のまちですから、火を使って仕事をしている場所も多いです。もし、大きな地震が起きて火事が多発したら、手が付けられない状態になりかねないと思います。

ダニエル 消防団長としては、いろいろとご心配ですね。

ところで、消防団長として活動される中で、どのようなことにご苦労されていますか。

白石団長 優秀な消防団幹部が支えてくれていますので、それほど苦労はありません。

強いて挙げれば、消防団に予算が少ないことでしょうか。

消防団というのはすばらしい組織です。その消防団がさまざまな災害対応をすることで、守備範囲が広がる事はかまいませんが、守備範囲だけが広がって、活動に要する資器材が不十分では実力が発揮できません。これは、土岐市に限らず全国的に言える事だと思います。

ダニエル 確かに消防団はいろいろな場面で活躍していますね。

そういえば、消防基金のS-KYT研修を実施されているそうですね。

白石団長 はい、昨年度に1回、今年度は

2回行っています。

そこにも指差し唱和項目が書いてありますが、団員にも浸透しつつあります。

ダニエル あっ本当だ。

この研修は、どこの消防団員さんにかがってもみんな「良い研修だ」と言われますから、どんどんやってください。

どういう経緯でS-KYT研修を知ったのですか。

白石団長 消防基金の広報誌で知りました。興味が湧く内容でしたし、講師の派遣も費用の助成もしていただけるということで、実施を決めました。

今年度の2回目は女性消防団員だけで実施しており、全国的にも珍しいということですよ。

ダニエル そうですか。こちらの女性消防団員の活躍はすごいですね。

研修を受けられてどうでしたか。

水野副団長 大変ためになりました。

よく事故に遭うのは運が悪いからだと言いますが、それだけではなくて、いろいろな事が起こり得るということ意識しながら活動することで、ある程度は防ぐことができるということを学びました。

ダニエル 危険要因を探すということですか。

水野副団長 そうですね。

ダニエル それはきっと、冷静に活動するということにもつながるでしょう。

水野副団長 そう思います。

清水分団長 女性消防団員の受講後のアンケートには、日常生活の中で危険を予知する気持ちが養えるので、消防団活動にもそれ以外にも役立つといった声が多くありました。

消防団たずねあるき

ダニエル 日常生活の中でできるというのはいいですね。

清水分団長 はい。女性は家庭で火を使うことが多いですから、そういうときにも「ガスの元栓ヨシ!」というように指差し呼称をして習慣付ける事ができるということで、良い経験になったようです。

白石団長 講師の方々は皆さん人柄が良く、消防の知識と経験が豊富で団員からは大好評でした。

太田本部長 この研修を経験したことで、団員は災害現場での問題点を把握することができるようになり、それをその後の活動にも活かすことができるようになると思います。

それと、土岐市消防団では独自で「消防団出動調査報告書」という書類を作り、出動した後に提出することになっています。

これは、出動時の人員、車両、装備などを表



指差し唱和項目

面に記入し、裏面には活動時の状況を図で書き込むようになっており、活動終了後に、その活動に問題がなかったかといったことを話し合うための材料になります。

S-KYTで活動前の安全管理を図り、消防団出動調査報告書で活動後に安全について考え、二段構えの安全管理を行っていきたいと思います。

ダニエル なるほど、事前に考えることも重要ですが、体験してからの方がわかりやすいこともあるでしょうね。

太田本部長 そうですね。より高いレベルでの公務災害防止を目指したいと思います。

ダニエル 男性の方にも S-KYT研修の感想をお聞きしたいなあ。

西尾副分団長 受講してからは、安全のための意識を高めるという発想が、私も含めて多くの団員に生まれています。訓練前にも指差し唱和などをして、安全に活動するということの重要性が再認識されました。

ダニエル 良かったですね。

白石団長 今年度は公務災害が発生していません。これは S-KYT研修を実施した成果だと思っています。

ダニエル やはり、意識して活動することで違ってくるのですね。

白石団長 そう思います。以前から私は団長として「ケガがないように」と団員に言ってきましたが、研修を受け、皆が具体的に安全を意識して活動することで変わってきていると思います。

皆さんいろいろ考えていますね。

今日は、団長をはじめ 8 名の消防団員の方に

消防団たずねあるき

ご出席いただいておりますので、お一人ずつお話をうかがいましょう。

ダニエル 皆さんが消防団に入団されたきっかけや消防団に入って良かったことを教えてください。レディーファーストで行きましょう。

水野副分団長 私の場合は、主人が消防団員だったことがありまして、住んでいる地域で女性消防団員の募集があり、声を掛けていただいたことがきっかけで入団しました。

その当時、消防というのは男の世界だと私は思っていました、まさか自分が入るとはまったく思っていませんでしたが、わけもわからず首を縦に振ってしまって（笑）…。

入団してからは、確かにいろいろ大変ですが、ものすごく良い勉強をさせていただいています。今は、1人でも多くの女性に消防団を経験して欲しいと感じています。

ダニエル いい経験だったんですね。では次の方をお願いします。

清水分団長 私は、それまで女性消防団員として活動していた知人が退団することになって、後を託される形で入団しました。

当初は、女性が消防団で一体何をやるのだろうと思っていました。でも、入団してみると、日常生活では味わえない緊張感があったり、いろいろな方に出会えたりといったことから消防団員としてのやりがいを感じています。今日、ダニエルさんとお会いできたことも、消防団員になって良かったことのひとつです。（笑）

ダニエル それは、それは…、ありがとうございます。（笑）

では、男性陣に行きましょう。

林本部長 私が最初に入団したのは、かれ

これ30年ほど前のことになります。

地域の先輩が消防団に入っていて、そうなるのが必然的に引っ張られるのです。今の時代は地域の先輩後輩という関係がそれほど密ではないようですが、当時は腕白坊主の集まりの様な感じで「お前も入れ」ということで入団しました。

入団して良かったことは、みんなが消防という共通な目的のために集まっていて、ボランティア精神を持っていて、それを前提にいろいろな人とお付き合いができることです。

ダニエル 職業に関係した集まりとは違うのでしょうか。

林本部長 そうですね。もちろんみんな消防には真剣に取り組んでいますが、それを離れたときの付き合いも含めて、とても楽しいです。

ダニエル それでは次の方をお願いします。

西尾副分団長 私の場合は、それまで消防団員の経験はなかったのですが、同年会で正副分団長を出すということになり、副分団長として入団しました。

ダニエル いきなり副分団長ですか。

太田本部長 土岐市消防団では、そういうケースもあります。

西尾副分団長 入団して良かったことは、若い人から年配の人までいろいろな年代の人と腹を割った付き合いができることです。それまで私は横のつながりしか持っていませんでしたが、入団して縦のつながりを手に入れることができました。

ダニエル いろいろな年代の人とネットワークができたということですね。消防団の役得ですね。

では、次の方をお願いします。

各務分団長 私は、25年ほど前に最初の入団

消防団たずねあるき

をしました。正直に言いますが、当時、あまり気が進みませんでした。でも、入団を断るといことができない状況でした。

入団していろいろな火災現場で仲間と活動したことは自分の中で大きな経験になっていますし、仲間と一緒にお酒を飲んだことなど楽しい思い出がたくさんあります。今、分団長をしていますが、消防団のつながりが昔よりは希薄になっているような気がして、少しさびしいです。

ダニエル 昔は火事で出動する事が多かったのですか。

各務分団長 そうですね。この辺りの焼物の窯も昔は屋根が茅葺きだったり、燃えやすい構造でしたので火事は多かったですね。もちろん、今はそんなことはありません。

ダニエル 窯が燃えたのですか。

各務分団長 窯自体ではなく、その熱によって上にある屋根が燃えるわけです。

白石団長 確かに昔は多かったですね。

ダニエル そうですか。では次の方をお願いします。

太田本部長 私も30年ほど前に、仲間を誘われて入団しました。土岐市の消防団の特徴として、再入団が多いということがあります。私の場合も、当初6年ほど団員を務め、一旦退団してから8年後に班長として再入団しました。その後も同じように部長や副分団長として再入団しており、消防団員としての勤務年数は16年目ですが、ところどころ間が抜けているわけです。

ダニエル でも、経験者の方は、すぐに復活して活動できるでしょう。

太田本部長 そうですね、逆に言うといろいろな経験ができたということでもあります。

先ほども言いましたが、土岐市消防団では団

員の経験がなくて幹部団員になる場合があります。ですから、S-KYT研修などの研修が、より重要になってくると思います。

本部長になってからは、団長のアイデアやオーダーを実行に移す立場として、すべてにお応えすることはできませんが、とてもやりがいがあると感じています。

ダニエル 大変でしょうけど、がんばってください。

次に、副団長をお願いします。

館林副団長 最初は34年ほど前に入団しました。私も、太田本部長と同じように、班長、部長、分団長といろいろな階級での入退団を経験しました。現在は副団長として団長を補佐する立場ですが、同時に北部方面隊という3つの分団からなる方面隊を統括する立場にもあります。

こういう立場になると、部下の団員をまとめる事やケガをさせないように配慮することの大変さを感じますが、同時にやりがいを感じます。また、それが生業である会社の経営にも役立っている気がします。

消防団の魅力は、先ほどからの皆の話にあったように、縦の関係と横の関係が同時に持てることです。つまり、はっきりとした命令系統で活動する組織であり、かつ、今は少なくなりましたが、時には一緒にお酒を飲んで、みんなが仲良くできる組織でもあるということだと思っています。

ダニエル オラの経験だと、消防団員さんはお酒が好きな方が多いような気がします。

館林副団長 そうかもしれません。

ダニエル 同時に、とてもユーモアのある楽しい人が多いですね。陽気で生き生きとしていますね。

消防団たずねあるき

では、団長をお願いします。

白石団長 私の場合は団員の経験がなく、初めて入団したのは班長としてでした。班長ですが消防のことがわからないので、当初は弁当係でした。(笑)

ダニエル 初めから班長というのは、年齢などで決まるのですか。

白石団長 そうですね。私が若い頃は21歳と22歳の年齢の人を対象に消防団員の募集がされていました。当時、私は大学生でしたので入団することができませんでした。しかも、卒業すると23歳になりますので、募集の対象から外れてしまい、その時点でも入団できませんでした。当時はそれくらい入団する人が多かったということです。

そして、同級生たちが団員から班長になる頃に「あいつもなんとかしなければ」ということになりまして、私も班長として入団したわけです。

いろいろな思い出がありますが、特に記憶に残っているのは分団長として再入団した当時のことです。そのころ私は40歳前半で、20歳も若い団員とともに活動し、話をし、消防団以外ではできない体験をしました。当時の分団に所属していた団員とは、今でも付き合いがあります。年代を超えた友人を得ることができました。

ダニエル 大変なこともあったでしょう。

白石団長 そうですね。分団長をしていた頃の新入団員には、学生時代に学校でトラブルを起こしていた者がおりました。でも、消防団で彼らと付き合ってみると、持って行き場のないパワーを持て余してただけで、そのパワーを消防団に向けてくれて、とても頼りになる団員になってくれました。

ダニエル そういう若い人たちの成長を見ることがするのも消防団の魅力なのですね。

若い人といえば、広報消防基金のバックナンバーを見ていたら、平成10年7月号に土岐市消防団が若い独身の消防団員を対象にお見合いパーティーを開催したという記事が載っていましたが、これは今でも行われているのですか。

白石団長 2年に1回行っています。若い男女に出会いの場所を提供して消防団を活性化しようということで始められました。

ダニエル 盛り上がるでしょうね。

白石団長 はい。当初は男性消防団員の参加が多かったのですが、最近は女性の参加の方が多いくらいです。次回はダニエルさんも特別ゲストで参加してください。

ダニエル ありがとうございます。きっと、うかがいます。

最後に、今後の抱負を聞かせてください。

白石団長 市民の安心と安全を守りながら、団員にもケガがないように活動して行きたいと思います。また、大きな災害がないことを祈っています。

「消防団改革委員会」を設置して、みんなで勉強したことで良い方向付けができましたので、それを維持しながら元気に活動して行きたいと思います。

ダニエル ありがとうございました。

ここで時間が来てしまいました。今回は多くの方に参加していただいたこともあって、いつも増して話し足りないような気がします。残念ですが、次回に譲ります。

焼物のまちの消防団

焼物というのは扱い方によっては壊れてしまいます。人々の平穏な暮らしも災害で壊れてしまうことがあります。こじつけかもしれませんが、相通ずるところがあるような気がします。

土岐市の人々の平穏な暮らしを守るために、日夜活動している土岐市消防団は、上手く言えませんが、災害に対する強さを持ちながら、焼物を壊さない丁寧さをも持ち併せている、そんな印象を受けました。誌面ではお伝えしきれなかったかもしれませんが、皆さんとお話ししていても明るい中にも繊細な心配りを感じました。

消防団活動マニュアルを作ることで消防団の役割や活動を明確に示す一方で、お見合いパー

ティーを開催するなど、硬軟を織り交ぜた活動を展開しているところからも、強さと繊細さが感じられます。

おわりに

短い時間でしたが、土岐市消防団の皆さんとお会いして、日本の良さのひとつである強さと繊細さを感じることができました。ぜひ、もう一度おじゃまして、その時はゆっくりと、白石団長ご推奨のウナギをいただきたいと思います。

土岐市消防団の皆さん、これからも強く繊細な活動で、土岐市のために、がんばってください！



対談風景 2